



## 新たなせいせきの街の活性に向けて、 『せいせきみらいフェスティバル』の幕を閉じます。

花火をツールにした地域活性化イベントとして『せいせきみらいフェスティバル』は、『KAOFES (カオフェス)』とのコラボによって2015年にスタートしました。最初の年の75発から数を増やし、2019年には555発を打ち上げました。しかし、その後の3年間、新型コロナウイルス感染防止のため中止等を余儀なくされ、昨年ようやく再開を果たすことができました。この間、たくさんのご協賛、ご支援本当にありがとうございました。

私たちせいせきみらい活性化実行委員会にとってこの9年間は、フェスティバルの企画運営のノウハウと達成感を蓄積する貴重な時間であったのと同時に、花火イベント継続との格闘だったと生意気ながら感じています。そして現在、(1)人件費や資材などの高騰による事業費の増大化、(2)自然環境、近隣・地域への配慮、(3)気候の激化や感染症などによる開催の不安定さなどの課題に直面し、その対応を迫られています。そこで本年は誠に勝手ながら、『せいせきみらいフェスティバル』を中止し、あらためて在り方を問い直しながら、「次のカタチ」への準備をさせていただくことにしました。

今、聖蹟桜ヶ丘の街では「かわまちづくり」が進められ、新たな住民の方々との出会いや街のにぎわいが創出されています。そのような中、実行委員会の目的である「これまで地元のみなさまが大切にしてきた思いを、みらいを担っていく人たちにつなぐ」ことをどのように実現していけるのか、ひとつの幕を閉じる残念な気持ちと新たな発進への期待感を持ちながら模索したいと思います。

末筆ながら、長年にわたってご協賛、ご支援を賜り深くお礼申し上げますと共に、何卒ご理解いただき、引き続きせいせきみらい活性化実行委員会をよろしく願い申し上げます。

令和6年7月

せいせきみらい活性化実行委員会一同



<http://seiseki-mirai-fes.com/>

